

2021 年 10 月 26 日

ソニーグループ株式会社
特定非営利活動法人放課後 NPO アフタースクール

【ソニーグループ×放課後 NPO アフタースクール】
子どもの教育格差縮小に向けた取り組み「感動体験プログラム」
2021 年度上期のプログラムの効果測定を実施

ソニーグループ株式会社（以下、ソニー）は、2018 年より国内における子どもの教育格差縮小に向けた取り組みとして「感動体験プログラム」を展開しています。その一環として、子どもたちに豊かな放課後を提供している特定非営利活動法人 放課後 NPO アフタースクール（以下、放課後 NPO アフタースクール）とパートナーシップを組み、小学校の放課後にソニーの技術やコンテンツを活用した STEAM※1 分野の多様なワークショップを実施し、子どもたちの創造性や好奇心の向上をサポートしています。

※1：Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Art（芸術）、Mathematics（数学）の略



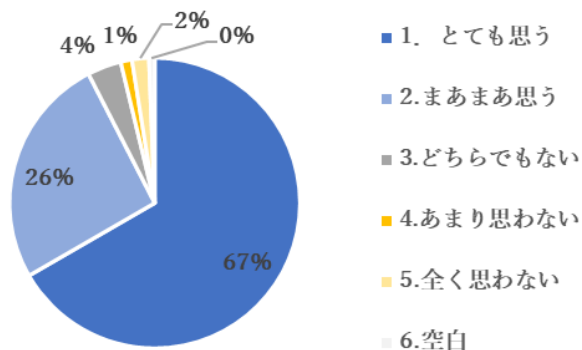
「感動体験プログラム」においては、初期、中期、長期の時間軸で子どもたちにどのようなよい影響を与えうるかを考慮し、プログラムの内容などを設計しています。また、本プログラムの有効性を評価するため、子どもたちにワークショップ実施前および実施後にアンケート調査を行い、本プログラムの目的である創造性や好奇心などの非認知能力の向上に貢献しているかを確認しています。さらに日頃から子どもたちと接している放課後児童クラブや放課後子ども教室などのスタッフからもヒアリングを行い、プログラムの評価に反映しています。

本プログラムでは、2021 年 4 月～9 月に 8 ヲ所でワークショップを実施し、延べ約 210 人の子どもたちが参加しました。参加者アンケートでは、ワークショップを通じて、知らないことにチャレンジしたいという意欲や未知な物事に対する好奇心が向上したというような結果を確認できました。ソニーおよび放課後 NPO アフタースクールは、これからも子どもたちに「感動」を届け、創造性や好奇心を育む機会を提供するとともに、教育格差縮小に向けて、継続的にプログラムの有効性評価の実施と成果の発信に取り組んでいきます。

<プログラムを体験した子どもたちのアンケート>
(放課後NPOアフタースクール調べ)

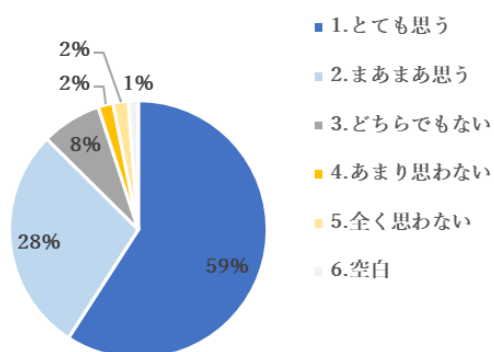
■93%の子どもたちが今後も同様の体験を希望

今回のようなプログラムがあれば、もっと放課後は楽しくなりますか？（回答数：171）



■87%の子どもたちがチャレンジ意欲を持つようになったと回答（回答数：171）

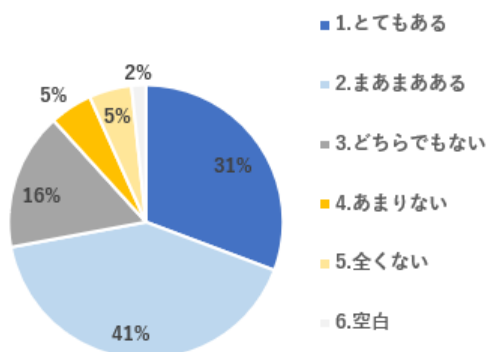
できるかどうかわからないことでも、やってみようとおもいますか？



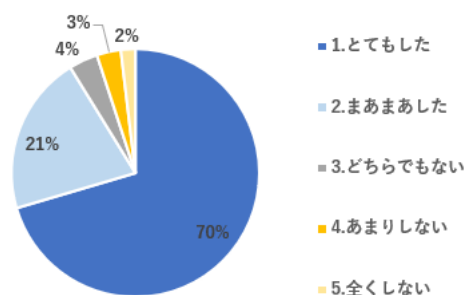
■未知な物事に対する好奇心が、実施前 72%から実施後 91%と大幅に向上（回答数：171）

自分の知らないことや、新しいことに会うのはワクワクしますか？

【実施前】



【実施後】



ワークショップを体験した子どもたちからは、以下の声があがりました。

「自分が知らないことを知れて良かった。また、知らないことをやってみたいと思いました」

「自分で何がしたいか考えてみんなに発表するのがとても楽しかったです」

「ダンスはにがてだったけれど、やってみたらたのしかった」

■イベントのお知らせ～企業の視点からの子どもの教育支援の重要性～

11月10日（水）に放課後NPOアフタースクールが主催する「子どもたちのために～企業×NPO フォーラム ESG・SDGs等の責任に企業とNPOがどう取り組むか？」が開催されます。本イベントでは、より多くの多様な企業とNPOが次世代育成に取り組むことの重要性を広く発信するために開催するものです。当日、ソニーグループ株式会社サステナビリティ推進部 シニアゼネラルマネジャーのシッピー光が登壇し、ソニーが長年にわたり実施している、次世代を担う子どもたちに向けた教育支援活動について紹介いたします。

◇開催概要

- ・日時 : 2021年11月10日（水） 17:30-19:00
- ・参加費 : 無料
- ・形式 : オンライン
- ・申し込み : <https://houkago-forum.peatix.com/>

ESG・SDGs等の責任に 企業とNPOがどう取り組むか？

企業・投資家・消費者・就活生にも意識されるESGやSDGs。業種や事業規模を問わず多様な企業の参画で様々な取り組みが始まっています。90分の中で主催者NPOが掲げる「社会で子どもを育てる重要性」に触れつつ、多様な視点を紹介します。

オンライン開催
子どもたちのために
**企業×NPO
フォーラム**

11/10(水)
17:30～19:00

**ご登壇者
と
テーマ**

**SDGs時代に企業は地域社会
とのかわりをどう進めるか？**

**次世代を担う子どもたちの
教育格差縮小に向けた取り組み
～ソニーグループ多様なアセットを活用した
「産学連携プログラム」について～**

**なぜ企業はビジネスの本業で
SDGsに取り組むのか？**

**『CSR企業総覧』
(東洋経済新報社) 編集長
岸本 吉浩 様**

様々な企業や事業規模の企業から、SDG（ESG）情報も豊富に
提供・発信・分析等を行っている。
日経出版、アース社などの
出版・メディア、企業の関係者。

**ソニーグループ株式会社
サステナビリティ推進部
シニアゼネラルマネジャー
シッピー 光 様**

社会貢献部としてソニーに入社後、約30年間、様々な
リサーチ・デザイン・CSRに関わる、
小澤さんとのかかわり。

**株式会社メンバーズ
執行役員
『SDGsが生み出す未来のビジネス』 著者
原 裕 様**

1984年にアメリカでキャリアをスタートし、1999年より日本のDX
推進、SDG（ESG）推進等、
本報に執筆、ジョン・レノンとスティー
ブ・ジョブズを軸としたDTC。

●日時 **11/10(水) 17:30～19:00**

●対象 CSV・CSR・サステナビリティ担当者
広報宣伝・マーケティング等担当者
またはテーマに関心のある企業の方

●参加費 無料

●形式 Zoomウェビナー配信

●ナビゲーター
後藤 愛
(特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール)
食品メーカーのCSR部門に就任後、「子どもの
放課後課題をなんとかしたい!」との思いで
NPOへ転身。2児の母。

●お申し込み
Peatixよりお申し込みください。
<https://houkago-forum.peatix.com>

●締め切り **11/7(日)**
お申込みいただいた方には、開催前1週間前に担当者からメールでZoomのリンクをご連絡いたします。
※当日の配信動画の録音・録画はご遠慮ください。

放課後NPO
アフタースクール

主催：特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール
(企業連携特設ページ <https://npofafterschool.org/social-design/>)

お問い合わせ (メール) goto@npofafterschool.org

■ソニーグループが取り組む教育支援活動

ソニーは社会貢献活動のスローガンとして「For the Next Generation」を掲げ、次世代を担う子どもたちの教育プログラム「CurioStep with Sony」を国内外で展開しています。2018年には新たな取り組みとして、国内における社会問題の一つである子どもの「教育格差」縮小に向けた「感動体験プログラム」を開始。NPOなどの外部団体とのパートナーシップのもと、小学生の放課後の学童、地方や離島の小学校、子ども食堂などにおいて、ソニーの技術やコンテンツを活かした多様なワークショップを実施しています。

■放課後 NPO アフタースクールが「放課後拠点の充実+企業連携」で目指すソーシャルイノベーション

「放課後をゴールデンタイムに！」をスローガンに小学校の放課後改革に挑戦し、安全・安心な場と本物・多様な体験が両立するアフタースクールを展開している放課後 NPO アフタースクールは、放課後拠点の運営・サポートに加え、企業や行政等と連携して子育て・教育プロジェクトを推進する専門チームを設置。社会的に大きな影響力を持つ多様な組織団体と共に、社会全体で子どもたちを守り育む活動を加速させ、子どもたちのためのより豊かな放課後の実現に向けたチャレンジを続けていきます。